

Q1 採血にかかる時間は？



A

全血献血（200mL・400mL）は、15分程度です。

成分献血は、40分～90分程度です（採血する量により異なります）。

献血をして病気になったり、うつることはないの？

Q2

心配ありません。献血をして病気になることはありません。

献血をするときに使われる針や献血バッグなどは、献血者一人ひとり新しいものに交換されます。

だから、他の献血者から病気などがうつることは絶対にありません。

A



Q3 献血をすると、自分の体のことが分かって本当？



A

ご希望の方には、血液検査の結果をお知らせしています。

自分の体の健康状態を把握できますので、病気の早期発見などにも役立っています。

近くで献血できる場所を調べるには？

Q4

日本赤十字社のホームページでは、お住まいの地域の献血会場や献血バス運行予定などを掲載しています。

詳しくは、以下で検索してください。

日本赤十字社 献血

検索

A



Q5 献血するときの注意点は？

A

患者さんに安全な血液をお届けするために、採血基準のほかに、献血できる条件があります。以下は主なものですが、不安な方は問診医に相談してください。

薬を飲んでいる

病気や薬の種類によって、献血をご遠慮いただくことがあります。

ビタミン剤などは、内服していても支障ありません。



最近、歯科治療を受けた

3日以内に出血を伴う治療を受けた人は、献血できません。



予防接種を受けた



予防接種の種類によって異なりますが、一定期間献血をご遠慮いただいています。

- 接種後24時間：インフルエンザ、日本脳炎、子宮頸がん、肺炎球菌など
- 接種後4週間：B型肝炎など

ピアスをしている

穴のあけ方によって異なりますが、1ヶ月～6ヶ月間献血をご遠慮いただいています。

また、唇や口の中、鼻にピアスをしている人は、献血できません。

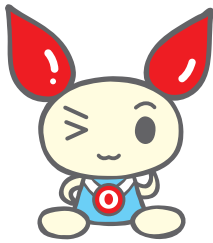
海外に行った

帰国当日から4週間以内は、献血をご遠慮いただいています。

また、特定の時期に一定期間イギリスなどへの海外渡航歴がある方については、当分の間献血をご遠慮いただいています。



Q6 献血した後は休憩は必要なの？



A

休憩は必要です！

献血の後は、気分不良、めまいなどの副作用が発生する場合もあるので、休憩場所で十分に水分をとって休憩(30分以上)してください。

もし、献血後にめまいなどがおこったら、転倒防止のため、すぐにしゃがむか、横になってください。

また、何度も献血したことがあっても、毎回、副作用には気をつけてください。

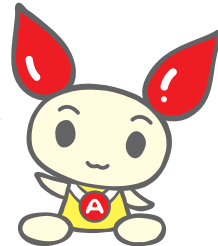
献血後に副作用があった場合の補償はあるの？

Q7

「献血者健康被害救済制度」があります。

副作用の大部分は軽度のもですが、医療機関の受診が必要となった時などの医療費等を補償する制度があります。詳しくはお近くの血液センターにお尋ねください。

A



Q8 400mL は抵抗があるので、200mL で採血をお願いしたいけど大丈夫なの？



A

200mLでも大歓迎です。

16歳から200mLの全血採血ができます。18歳（男子は17歳）になって400mLの全血採血が出来る年齢になったら、400mLでお願いしてませんが、400mLの採血に抵抗がある場合や、400mLの採血基準に満たない方などは、200mLでも採血できます。